



43年目を迎える宮代キャンパス(2010年5月撮影)



講演会冒頭、柳澤学長の挨拶

第6回「本学卒業現職教員の集い」 盛大に開催

7月10日(土)午後2時より、本学LCセンターにて第6回本学卒業現職教員

の集いが開催された。現職教員の参加者は、全国の小学校・中学校・高等学校に勤務する約65名、大学からは大川陽康理事長、柳澤章学長はじめ教職員約70名、また、教職希望の学生約30名が参加した。当日のプログラムは、以下の通りである。

- ① 研究協議会
- ② 「ものづくりに関する指導の工夫」、講師水野佳史氏(静岡県浜松市立富塚中学校教諭)
- ③ 学群交流会
- ④ 懇親会

研究協議会は、卒業生の日頃の教育実践に真打ちされた素晴らしい内容で、多くの教員に感銘をあたえた。学群交流会は、各学群において、大学教員と現職教員の交流を深めた。懇親会では、卒業生と大学教職員との輪が広がり、在学時代の思い出話や各地域・学校の状況や課題についての情報交換が活発に行われていた。現職教員は、東京・埼玉だけでなく、茨城、群馬、栃木、神奈川、さらに遠く、愛知県や兵庫県からも参加した。(工業教育研究所)

第3回学園協議会を開催

本学園の創立記念日である6月29日(火)、第3回学園協議会を大学学生会館ホールにて開催した。これは、平成19年の学園創立100周年(大学創立40周年)を期に、従来の創立記念式典を、より建設的な全学園の意見交換の場としての考えから、翌平成20年にはじまったものである。今回は、昨年の日本工業大学駒場中学校・高校での第2回に続いて第3回目の開催である。当日は、はじめに大川陽康理事長、柳澤章学長から

創立記念日にあたっての挨拶があり、続いて今回のテーマである「大学キャンパス整備の歴史及び将来計画―施設を中心に―」について藤田則夫大学総務部長から約1時間に行われた講演が行われた。講演では、過去の大学キャンパスの様子から今日の整備された施設設備の紹介や将来計画について



キャンパス整備の歴史などが紹介された

「実工学」スピリットの踏襲と 絶えざる錬磨を!



理事長
大川 陽康

記念すべき学園創立100周年から、はや3年。本学は、伝統をさらによきものにするため、確実に新たなステップを刻みはじめております。たとえば創造システム工学科の「実験研究室」及び電気電子工学科の「電子デザインラボ」などが開設される18号館の着工。さらには、昨年度に引き続き開催する、全国の中・高校に在職する本学卒業現職教員との連携を深め、すぐれた人材育成の発展を図る場の設置などが、その一端です。

近時、あの工学実験探査機「はやぶさ」の快挙で、あらためて日本の技術力の高さが立証されました。そして私は、その慶事に際して、本学も従前にもまして、確かなエンジニアリングに長けた人材育成に力を傾注していかねば、との思いに強く駆られております。学園関係者ご一同の、より一層の献身と努力を念じてやみません。

関係ない。技術者の優劣を決めるのは情熱だ。技術を学んで成長したいという社員への思いを大切に「学び抜く精神の醸成。後者は「学問なき経験は、経験なき学問に勝る」という海外のことわざに立脚。「人生経験の浅い若手社員を育てる最も確実な手段は、経験を与え、仕事に必要な発見をさせること」に邁進する、と伝えています。こうみてくると、それは本学が標榜する「実工学」の精神に通底する哲学が感じ取れます。つまり本学では、伝統的に経験と理論

の融合こそ、ものづくりの根幹を位置づけているからです。また、学園協議会に先立ち、午前11時30分からは駒場中学校・高校の、主として若手教員を対象とした大学見学会を開催。学園全体の情報共有といった観点からも有意義な創立記念日となった。

6/5 オープンキャンパス開催報告

6月5日(土)、オープンキャンパスが開催された。当日は天候に恵まれ、大勢の高校生や保護者の方が参加。参加者の希望にあわせて選べる体験授業や個別進路相談会、女子向け特別プログラムなどが好評だった。



女子学生とのLunch & Talking

研究室見学ツアー

オープンキャンパスのお知らせ

NIT 夏のオープンキャンパス

2010 8/21(土) 9/12(日)

無料バスを運行! 詳細は本学 WEB サイトでご確認ください。

オープンキャンパス・進学相談会

2010 10/16(土)

各開催日とも11時開始(ランチ付き)

詳細はホームページでご確認ください。

事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます。

お問い合わせ・お申込み先: 日本工業大学 教務部入試室

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

URL: www.nit.ac.jp 携帯URL: www.nit.ac.jp/k

今年度開催のコンテスト、イベント ぜひ、ご参加ください。

3-D CAD プロダクトデザインコンテスト

エントリー締切 8/16 結果発表授賞式 10/10
3D-CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマと自由デザインの2部門。優秀作品は実際に3Dオブジェに加工し、お渡します。

作品送付先/お問い合わせ先
機械工学科 3D-CADプロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL: 0480-33-7619 E-mail: nagasaka@nit.ac.jp
http://leo.nit.ac.jp/~nagasaka/pd-contest/index.html

第24回 建築設計競技

提出期限 8/31 結果発表 9月末
高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築学科の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「内」と「外」の中間領域をもつ家です。

作品送付先/お問い合わせ先
建築学科 建築設計競技委員会
TEL: 0480-33-7681 E-mail: kenchiku-compe@nit.ac.jp
http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/compe.html

第4回 マイクロボコン高校生大会

申込締切 8/28 開催日 9/11
わずか1インチ(2.54cm)角の大きさの「マイクロライトレースロボット」を設計・製作していただき、走行競技用コース1周の最短時間を競う、高校生対象の大会です。

お問い合わせ先
工業教育研究所 原田 昭
TEL: 0480-33-7512 E-mail: akih@nit.ac.jp
http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

第13回 スターリングテクノロジー

申込締切 9/11 開催日 11/13
自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競う競技会です。人間乗車、RC、宙返り耐久、ミニ速度、クーラの5クラスで競われ、小中学生から高校生、一般の方まで参加できます。

申込先/お問い合わせ先
埼玉大学総合研究機構内 運営委員長 松尾政弘
TEL&FAX: 048-858-3098 E-mail: stirling@com.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

大学の地域連携活動の紹介

大学の使命・目的は、教育、研究にあることは言うまでもないが、それに加え、今日では、これら教育・研究の果実を地域に還元することも大きな使命である。認識している。本学においても地元の宮代町、春日部市と包括的な連携協定を昨年締結したところであり、より一層の地域との連携を図っていく所存である。

以下、最近の地域との連携活動の一端を紹介する。

- ①宮代町立須賀中学校生徒の「2daysチャレンジ」
宮代町立須賀中学校の生徒4名を「職場体験学習」として7月7、8日の両日、
- ②宮代特別支援学校からの「産業現場等における実習」受け入れ
6月7日から11日までの5日間、宮代特別支援学校の生徒1名を受け入れ、事務局の用度・管財課において、パソコン入力作業等の仕事を体験した。
- ③みやしろ未来カフェ
5月28日、宮代町の市民活動支援への協力として、
- ④石川良三春日部市長訪問
大学に隣接する春日部市とは、本年2月12日に包括協定を締結。今後、さまざまな分野で連携していくことが確認されたところである。それらも踏まえ、6月25日、石川良三春日部市長が本学を訪問した。当日は



太陽光発電施設を見学する市長（左から2番目）

柳澤学長、渡辺副学長等大学関係者と今後の連携活動のあり方についての意見交換や、大学の紹介等を行い、本学のLCセンターや工業技術博物館を見学。最後に成田健一建築学科教授から「都市の環境計画に向けて」と題したミニ講演を実施。石川市長は最後まで熱心に耳を傾けていた。

経営力向上に貢献する専門職大学院

専門職大学院だより

今年度も4ヶ月近く経ち、6期生も生活のリズムを掴んで、充実した大学院ライフを送っている。働きながら平日夜間、土曜日の勉学との両立はタフではあるが、社会人学生ゆえの効用も大変大きい。今回は社会人大学院の特長と役割について述べてみたい。

心理学者キャッテルの論によれば、知力には記憶、推論などの能力に関わる流動知と、理解、評価、創造などの能力に関わる結晶知とがあり、前者は20歳、後者は60歳にピークがあるという。成人学習は、結晶知の獲得、鍛錬をめざすものであり、本大学院の学習内容はまさにこの領域の知力の強化が狙いである。したがって、豊富な実務経験を有する社会人を対象とするMOT教育は、この意味からもきわめて理にかなっている。学習者としての社会人の特性は、まず、社会的、職業的な経験に基づく学習に対するレディネスが高い。



小田教授「ネットワーク型事業活動論」の授業風景

また、自己統制能力を持つため、自ら学習計画を立てたり、自己評価することを好む。さらに重要なことは、経験、課題を学習の場に持ち込むことにより、情報伝達型ではなく経験対比的な学習が中心となる。それにより、学習は知識蓄積型ではなく、問題解決型のきわめて実践的なものとなり、問題中心型の思考力が養われる。必要な知識を体系的に修得することと並行して、実践の場にてその知識を実用したり、結果を検証することにより、知識の確実な定着をはかる学習法をハイラーニングと呼ぶ。学んだ知識を实地へ適用して応用力を培える、逆に実践の場での経験をもとに問題意識を持って学習に臨める利点がある。

日本工業大学卒業の諸君も、将来是非本専門職大学院にて技術経営を学び、各企業のリーダーとして大きく飛躍していただきたい。(副研究科長 山岡 齊)

ISO 更新審査

5月20～21日にISOの更新審査が行われた。今回で3回目となる。今回の審査はいつもとは趣を変え、過去を振り返ってこれまでの環境推進活動の成果、課題、今後の展望といった内容に重点がおかれた。環境管理責任者、主任内部環境監査員、部会、部門責任者インタビューにおいて、インタビューシートを事前に配布してそれを元にインタビューを実施するという内容であった。審査後の総括において指摘事項は無かった。結果は、「環境方針の目的・目標の枠組みに掲げられている課題は正に的を射たものであり、これに相応しい活動をいかに展開して行くかに腐心されている状況が良く



健康管理センターでの部門審査の様子

解り、EMS活動が好ましい方向で進められている。」と評価された。なお、改善の余地ということで3点ほど提案がされて審査を終了した。

学生自治会主催の主な学生行事

7月3日、学生自治会が主催する毎年恒例のポウリング大会が開催された。当イベントは非常に人気の高い行事で、今回も募集をしながら早い時期に、ほぼ満員となった。当日は、15時30分からピックボウル杉戸の全レーンを貸し切って行われた。1チーム4名で2チームを競い、成績上位者とチームには、主催者である神田委員長から豪華賞品が

授与された。春学期試験が終わると、8月3、4日の2日間、夏祭り大会が行われる。本年も体育館前噴水に櫓が組み上げられ、その周辺を中心に模擬店が出店、更に益踊りや浴衣コンテストなど様々な企画が行われる。そして、その最後を飾るのは、打上げ花火。今年も色とりどりの花火が夏の夜空を彩り、締めくくられる。

学生たちは、7月31日から9月20日まで、夏季休業となる。その間、多くのクラブ団体は夏合宿を実施する。運動部系を統括している体育会では、本年度の新生入生を対象に、通常のクラブ活動では体験できない他のクラブとの交流を図るため、「フレッシュマンキャンプ」を計画。赤倉山荘で8月6日から8日まで、2泊3日の日程でキャンプを実施する。一方、文化系クラブを取りまとめている文化団体連合会でも、同様に1年生を対象にフレッシュマンキャンプを実施しており、国立警備青少年交流の家で8月30日から9月1日まで、2泊3日の日程で行われる。



夏祭りには多くの模擬店が出店する

専門職大学院オープンキャンパス

2010

- パネルディスカッション
- 説明会
- キャンパスツアー
- 模擬授業 等を予定

10/30(土)

12/4(土)

2011

2/12(土)

お問い合わせ先
日本工業大学 専門職大学院
TEL. 03-3511-7591
Mail: mot@kanda.nit.ac.jp

※各日とも13:00開始

2011年度専門職大学院 入学試験日

第1回募集 2010/9/12(日) 第2回募集 2010/11/14(日) 第3回募集 2011/1/16(日) 第4回募集 2011/2/27(日)

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集
(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程
*機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成23年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	受付時間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成22年9月21日～9月29日	10月7日	10月15日	平成23年1月26日
二次募集	平成23年2月14日～18日	2月25日	3月4日	平成23年3月14日

お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

平成23年度入試概要

・各入試の詳細はそれぞれの「募集要項」でご確認ください。

入試種別	併願の可否	内 容	日 程					
			第1期		第2期			
特別奨学生入試	第1期 単願	奨学生には、1年次の学費の半額を免除 第1期 ・書類審査および面接による選考 第2期 ・筆記試験、調査書および面接による選考	申込期間	8/20(金)～9/1(水)				
			面接日と面接会場	9/4(土) 本学				
	出願期間		9/7(火)					
	試験日と試験会場		9/8(水)～9/13(月)		1/7(金)～1/27(木) 本学			
専門高校入試 (S工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・国公立大学等との併願に最適です	合格発表日	9/18(土)				
			入学手続締切日	9/29(水)				
	申込期間		9/2(木)～9/14(火)					
	面接日と面接会場		9/18(土) 本学					
専門高校入試 (B工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・公募制 *11/10(水)～11/12(金)の面接を希望する方は、11/5(金)までに申し込んでください。	出願期間*	10/25(月)～11/10(水)		11/25(木)～12/14(火)		
			面接日と面接会場	11/10(水) 盛岡* 11/11(木) 長野* 11/12(金) 新潟* 11/13(土) 本学		12/17(金) 東京 12/18(土) 本学		
	合格発表日		11/20(土)		12/25(土)			
	入学手続締切日		11/29(月)		1/19(水)			
AO入試	併願可	AOエントリー入試 ・面接および書類審査 (提出課題と調査書等)による選考 AOコーディネータ入試 ・面接および書類審査による選考	エントリー入試のエントリー期間	7/1(木)～8/5(木)	8/16(月)～9/14(火)	10/13(水)～11/19(金)	11/25(木)～12/16(木)	1/14(金)～3/4(金)
			コーディネータ入試の申込期間	平成23年3月上旬まで、随時受付				
	出願期間		9/1(水)～9/13(月)	9/30(木)～10/6(水)	12/3(金)～12/14(火)	1/7(金)～1/12(水)	3/4(金)～3/11(金)	
	合格発表日		9/18(土)	10/16(土)	12/25(土)	1/21(金)	3/19(土)	
一般推薦入試 (公募制)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・専門高校(工業科)以外の生徒を対象 ・公募制 *11/10(水)～11/12(金)の面接を希望する方は、11/5(金)までに申し込んでください。	出願期間*	11/1(月)～11/10(水)		11/25(木)～12/14(火)		
			面接日と面接会場	11/10(水) 盛岡* 11/11(木) 長野* 11/12(金) 新潟* 11/13(土) 本学		12/17(金) 東京 12/18(土) 本学		
	合格発表日		11/20(土)		12/25(土)			
	入学手続締切日		11/29(月)		1/19(水)			
一般入試	併願可	筆記試験および調査書による選考	出願期間	1/7(金)～1/27(木)		2/3(木)～2/16(水)		
			試験日	2/1(火) 本学・郡山・水戸・高崎 2/2(水) 本学・仙台・柏・東京 2/3(木) 本学		2/19(土) 本学・東京		
	合格発表日		2/11(金)		2/25(金)			
	入学手続締切日		2/22(火)		3/3(木)			
センター利用入試	併願可	・平成23年度大学入試センター試験で本学が指定する教科、科目の成績および調査書による選考	出願期間	1/7(金)～1/31(月)		2/3(木)～2/16(水)		
			センター試験実施日	1/15(土)・16(日)		※本学での個別学力試験等は実施いたしません		
	合格発表日		2/11(金)		2/25(金)			
	入学手続締切日		2/22(火)		3/3(木)			

・専門高校入試 (A 工業科) および一般推薦入試 (指定校) については、2011受験ガイドをご確認ください。
・お問い合わせ先：教務部入試室 ☎ 0120-250-267

システム工学専攻の小川君、吳君が優秀論文賞を受賞



小川君(左)と吳君(右)

大学院システム工学専攻の小川佳徳君(栃木工業高校出身)と吳宗煊君(福建仙游二中出身)の2名(小川君が「指紋画像処理の研究」、小川君の研究はエルトニニ現象発生前後の積乱雲の位置変化を自動認識する)が、5月12日から16日まで中国・北京で開催された第31回画像科学国際会議(ICIS2010)で優秀論文賞(The Prize of ICS210 Outstanding Paper)を受賞した。

受賞論文題目(和訳)は「私が受賞できると思っ

ずれも2年次、北久保研究室所属)が、5月12日から16日まで中国・北京で開催された第31回画像科学国際会議(ICIS2010)で優秀論文賞(The Prize of ICS210 Outstanding Paper)を受賞した。

受賞論文題目(和訳)は「私が受賞できると思っ

謝しています。吳君は「海外の学会で受賞することができて、とても嬉しいです。指導していただいた北久保先生、関係者の方々に感謝しています」と語っています。

後援会より 定期総会のご報告と 地域別教育懇談会のお知らせ



平成21年度決算報告

総会終了後には、学内見学会を実施。懇親会も行われ、会員及び教職員らが懇親を深めた。

後援会主催の「地域別教育懇談会」が今年も全国22会場で開催される。後援会では一人でも多くの参加を願って準備を進めている。実施予定は下表の通り。

平成22年度地域別教育懇談会開催日程(予定)

開催日	主催	開催都市	開催会場	対象地域
9月4日(土)	蔵王支部	山形市	ホテルキャッスル	山形県・宮城県
〃	北陸支部	富山市	富山電気ビルディング	富山県・石川県・福井県
〃	沖縄支部	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県
9月5日(日)	群馬支部	高崎市	高崎ビューホテル	群馬県
〃	茨城支部	水戸市	ホテルテラスザガーデン水戸	茨城県
〃	千葉支部	千葉市	京葉銀行文化プラザ	千葉県
〃	山梨支部	笛吹市	ホテル春日居	山梨県
9月11日(土)	岩手支部	花巻市	湯の杜ホテル志戸平	岩手県
〃	長野支部	長野市	ホテル信濃路	長野県
〃	本部(九州)	福岡市	ホテル東急ビズフォート博多	九州
9月12日(日)	本部(四国)	松山市	ホテルJALシティ松山	四国
〃	本部(北海道)	札幌市	未定	北海道
9月18日(土)	福島支部	郡山市	清陵山倶楽部	福島県
〃	静岡支部	静岡市	清水テルサ	静岡県
9月19日(日)	栃木支部	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県
9月25日(土)	青森支部	青森市	青森国際ホテル	青森県
〃	秋田支部	秋田市	協働大町ビル	秋田県
9月26日(日)	新潟支部	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県
〃	東海支部	名古屋	金山ワシントンホテルプラザ	愛知県・岐阜県・三重県
〃	西中国支部 東中国支部	山口市	ホテルニュータナカ	広島県・山口県・島根県 岡山県・鳥取県
10月3日(日)	近畿支部	尼崎市	尼崎市立小田公民館	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
〃	本部(近畿)		大学	東京都・埼玉県・神奈川県

*開催日および会場は、都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部(支部のない地域は本部)より各会員宅に郵送されるので、ご確認ください。
*対象地域以外にも参加可能ですので、後援会事務局にお問い合わせください。

学食デカ盛りメニュー BEST3

企画:情報工学科4年 草岡、中島、永倉

- 1 「カレーライス漢盛り」の大盛り
アルテレーベ 約1200g(器除く) 900円
- 2 「デラックスパフェ」
LCセンター内カフェ 約1000g(器除く) 1,200円
- 3 「メガランチ」
第1食堂 約800g(器除く) 500円

あなたもこれ食べて真の漢になろう!!

学食で食べられる大盛りメニューのランキングです。第1位は、超大盛りカレーに揚げ物が4種類も載った約1.2kgのカレーライス漢盛り(の大盛り)。第2位は約1kgの超重量級パフェ。意外にも男子学生に人気です。第3位は、おかずが通常定食比3倍もあるというメガランチで約0.8kg。ぜひあなたも挑戦してみてください。

漢盛り(の大盛り)と通常カレーの比較



漢盛り(の大盛り)と通常カレーの比較

11/6 第11回ホームカミングデーへのお誘い

ホームカミングデーが、若杉祭期間中の11月6日(土)に開催される。この企画は今年で11回目を迎える。当日は、工業技術博物館・各センターを中心とした学内見学ツアーで現在の大学を体験していただき、学食の試食や懇親パーティなどを予定している。大好評の抽選会では盛り沢山の景品を用意。ご家族連れでの参加も歓迎している。是非とも皆さまお声を掛け合っ、旧友や現旧教職員と思い出に残るひと時を過ごしていただきたい。

昨年の見学ツアーの様子



参加者全員で記念撮影(昨年)



機械工作センターで宮澤教授から説明を受ける一行

5月27日(木)、サウジアラビア王国高等教育省在パキスタン文化アタッシェ(文化・教育担当官)及びその一行が来学した。本学の視察等を行うとともに、本学サウジ学生との交流を深めた。

一行はまず柳澤学長を表敬訪問し、互いの要望やサウジ学生の学力向上の取り組みについて情報交換を行

い、情報工学科の研究室や機械工作センター等を見学。その後学友会館にて在学中のサウジ国費留学生たちと懇談し、学生たちの近況を聞くと同時に将来の奨学金制度の充実のためアンケートを実施した。

本邦の大学に関する情報を得、本学国費留学生の近況を知った一行は、充実の日程のうち帰途についた。

平成22年度の後援会理事は113名、監事2名。執行部は次の通り。

会長 小林 卓(神奈川)
副会長 降旗一善(長野)



長野県支部の地懇の様子(昨年度)

留学生交流会が、6月22日(火)に学友会館で開催された。近年、留学生数の増加に伴い平成19年から毎年この会を開催している。新入生はもちろん、在籍している留学生同士とのさらなる交流・親睦を図ってもらうことを目的としている。

今年も、みよし国際交流ネットワークの方々にもご参加いただいた。参加者に



夕食を楽しみながら留学生が交流

第3回 留学生交流会開催

【任用】(7月1日付)
田中大介事務職員(総務部施設環境管理課) 昭和43年8月26日生まれ

国外出張

◆神野雅准教授(機械工学科) / 出張先||オーストラリア(6/6~11) / 目的||アジアパシフィック生産技術国際会議2010にて研究発表
◆古閑伸裕教授(機械工学科) / 出張先||中国(6/13~20) / 目的||国際レタシオンボジウム2010において論文発表
◆波多野純教授(生活環境デザイン学科) / 出張先||オランダ(6/15~20) / 目的||ライデン国立民族学

シニアチャレンジ講座 秋学期受講生募集

埼玉県内16大学共同実施開放講座は3年を迎える。春学期は4科目を開講、27名の受講生が学生と学習に励んだ。秋学期は9科目実施の予定で受講生を募集中である。応募は埼玉県内在住55歳以上の市民を対象とする。講座名と担当は次の通り。環境と工学(佐藤教授)、機械技術史(丹治講師)、新エネルギー技術(森田教授)、福祉と情報(片山教授)、西洋建築史(渡辺教授)、日本住宅の歴史(波多野教授)、風土とすまい(伊藤教授)、世界遺産とアジアの建築(黒津教授、成田剛准教授)、デッサン・造形演習(黒津教授、江刺家講師)。要項は生涯学習センター、大学ホームページから入手できる。

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

国勢調査を実施します

10月1日を調査基準日として、総務省による国勢調査を実施します。国勢調査は、日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、調査結果は、雇用対策や福祉政策など私たちの暮らしの様々な分野で活用される基礎資料となります。国勢調査員が9月23日から30日の間に調査票を配布しますので、調査票に記入したのち提出してください。調査の内容など、わからない点がありましたらコールセンター(0570-012010)またはお住まいの市町村へご連絡ください。調査への協力をお願いします。

編集後記

▼作家、吉川英治はその著「三国志」の一節で「登れぬものは、人間的観念で、その眼だけの観念を越えて実際に懸命に当たってみれば意外易々と登れるような例はいくらもある事だ」と書き留めている。

▼人間は先入観や思い込みが強い生き物で、そのため、事実を露端から取り違えていることがよくある。しかし、誰もとおらない道に案内とされる道がある。理と語るべき道。

▼超水河期と呼ばれるこの数年の就職戦線の渦中で感じること、大学生の現実からの逃避現象である。曰く「何社もの資料を集めるのが面倒臭い」「書類を書くのが大変だ」「筆記試験の勉強などやりたくない」「一度面接を失敗したのでもう二度と受けたくない」「グループディスカッションは難しいから、実施しない企業だけを受けよう」

▼このように、とくく、困難な出来事への拒否反応が目立つときの大学生に対して、教員が諭せる事は逃げずに立ち向かう行動の大切さである。(信)